



新中期経営計画について

2022年5月10日

NECネットエスアイ

(銘柄略称：NESIC 証券コード：1973)

目 次

1. 前中期経営計画“Beyond Borders 2021” の振り返り

2. 新中期経営計画

1. 前中期経営計画“Beyond Borders 2021”の振り返り

前中期経営計画の総括

DX/5G時代の持続的な利益成長に向けた構造改革は、完了

1

デジタル/5G時代に向けた
競争力・成長力強化



- SymphonictによるDX事業拡大
- 共創実践モデルによる、新たな事業創造

2

先端技術・新しい事業を創出する
基盤・仕組み・体制の強化



- 新たな技術教育・実証環境の整備
(新川崎テクニカルベース/5Gラボ)
- 米国VC等を活用したインキュベーション加速

3

All-NESICでのイノベーション加速



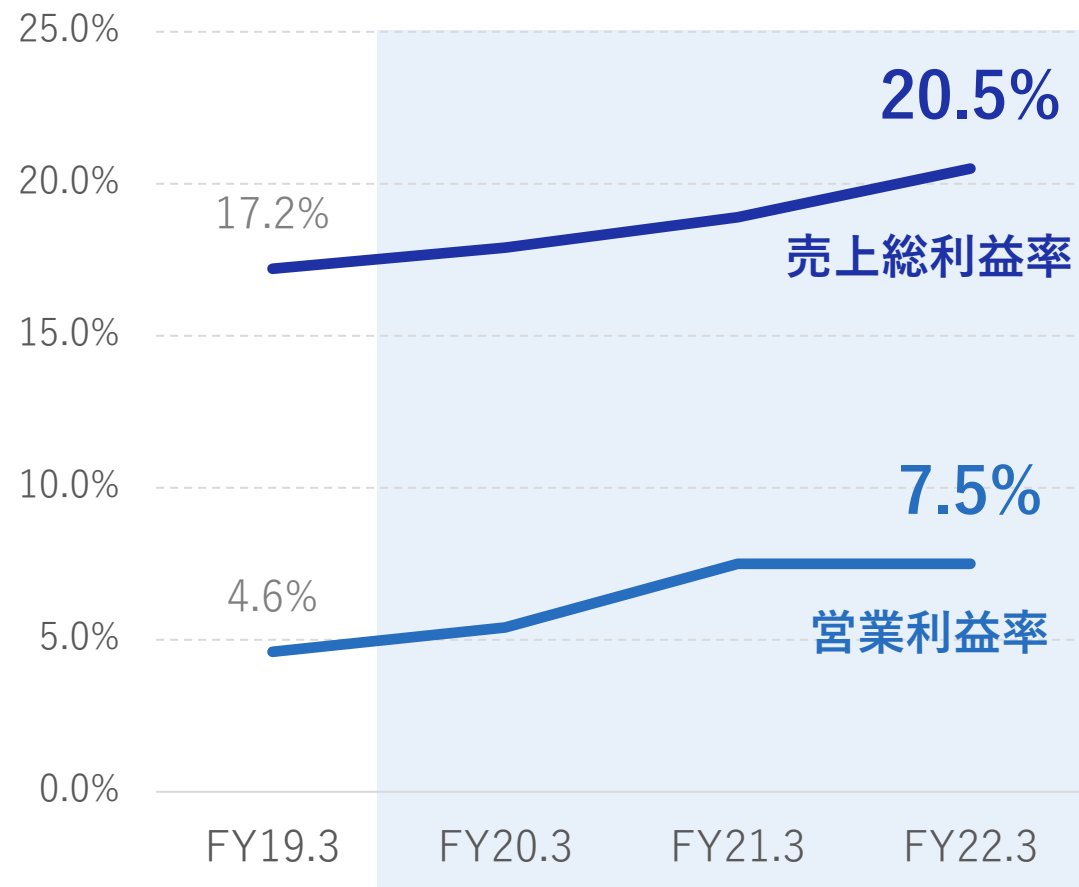
- 日本橋Innovation-Baseや分散オフィスを活用した、ニューノーマルの働き方実践
- 全社一体型DX提案モデルの定着

経営目標の達成状況

(億円)	2022年3月期 目標	2022年3月期 実績	(参考) 2019年3月期比	(参考) 過去最高
売上高	3,100	3,103	+324	3,391 (2021年3月期)
営業利益	200	232	+104	256 (2021年3月期)
(営業利益率)	6.5%	7.5%	+2.9pt	7.5%
ROE (自己資本利益率)	10%以上	11.6%	+2.9pt	13.5% (2021年3月期)

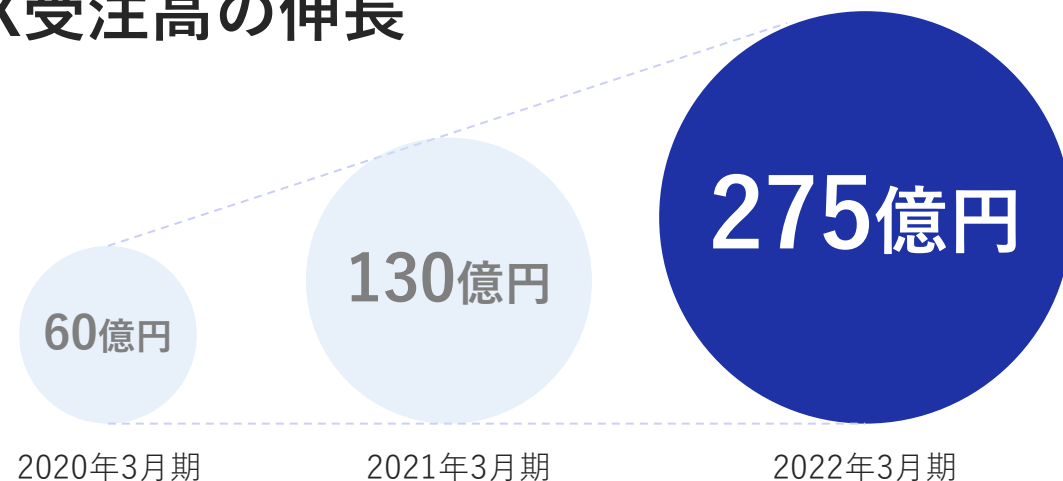
前中期経営計画の成果

収益性の向上



前中期経営計画

DX受注高の伸長



共創パートナーとの事業創造・実証実験

- 三井不動産様、東京電力様[※]等
(スマートビル、新ワークスタイル) (モバイルバッテリーレンタル「充レン」)
- 徳島県様、京都府城陽市様等
(ローカル5G) (自治体DX)
- 東京大学様、立教大学様等
(ローカル5G) (デジタル活用キャンパス)

※東京電力エネルギーパートナー様

2. 新中期経営計画

2030年に目指すもの

DX

×

次世代NW
(Beyond 5G)

=

Sustainable
Symphonic
Society

(持続可能で、
豊かに響きあう社会の実現)

社会・技術の変化に対し、一歩先んじたサービスを提供

脱炭素

活気あふれる
まちづくり

スマート
インダストリー

より自由な
働き方・暮らし

安心・安全
セキュリティ

健康
Well-Being

NECネットワークスアイグループのサステナビリティ

Sustainable Symphonic Society

持続可能で、豊かに響きあう社会の実現

社会への価値提供

- 誰もがより生き活きと働ける環境の創造
- 先進テクノロジーを活かした楽しく豊かな街づくり
- 発展する社会の安心安全を支える万全なサービスの提供

マテリアリティ



自社の成長

- 健全で透明性の高い経営
- 新たな価値を創出するイノベーション力の強化
- 一人ひとりが生き活きと輝く環境づくり

使命（パーパス）：NECネットワークスアイグループ宣言

新中期経営計画の位置づけ

Input

社会関係資本

DX顧客数 **25,000**社
産官学の共創パートナー

財務資本 (22.3期)

フリーキャッシュフロー **155**億円
強固な財務基盤

人的資本

DX人材 **800**人
次世代NW人材 **600**人

知的資本

日本橋イノベーションベース
新川崎テクニカルセンター

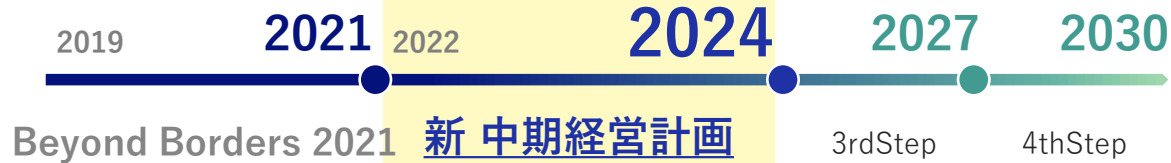
製造資本

全国サービス網 約**400**カ所
24時間365日対応

自然資本

サステナビリティ方針の策定
TCFD提言への賛同表明

Leverage



持続的な成長に向けた
“準備期間”

新たな事業構造への“進化”
DX×次世代NWの“具現化”

共創実践モデル

自社実践コンサル

グローバル展開

深化

高度化

広域化

価値の循環

Outcome

Sustainable
Symphonic
Society

マテリアリティ



社会への価値提供の取り組み

- 1 誰もが生き生きと働ける
環境の創造
- 2 先進テクノロジーを活かした
楽しく豊かな街づくり
- 3 発展する社会の安心安全を
支える万全なサービスの提供

Shift up 2024

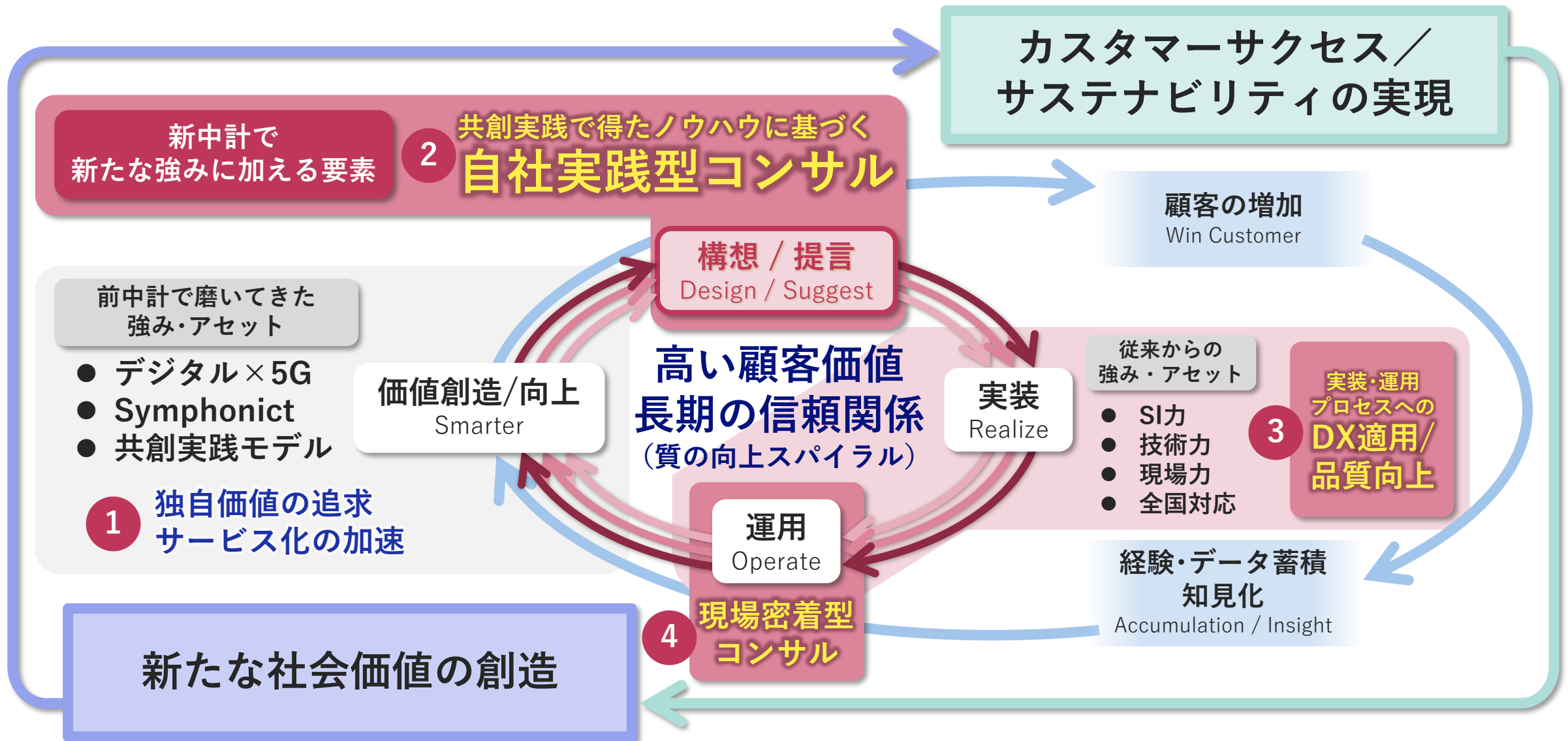
社会を、さらなる高みへ

DX×次世代NW
実証から
実装へ

顧客との関係
共創から
協奏へ

ビジネスモデル
プロジェクト型から
スパイラル型へ

スパイラル型成長モデル ～コンサルを軸としたリカーリングモデル



1

オリジナルな価値創造を加速

2

課題解決力の高度化

3

“全社”のDXネイティブ化

基本戦略1：オリジナルな価値創造を加速

Symphonictを核に価値創造し、お客さまに最適な“DX×次世代NW”を提供

個客への最適化

大手：ハイタッチ
中堅

中堅：チャンネル
中小：Eコマース

スピード/
コストの最適化

お客さまの本質的課題にフォーカス
イシュードリブンで価値創造

経営改革
(CX)

ビジネス変革
(BX)

社会課題対応
(GX)



単なるSIに留まらず
ミッシングピースは
独自サービスを開発

1 自社実践型/現場密着型
コンサルティング

イノベーション創造

顧客体験の変革

気候変動対応

働き方改革

現場業務変革 / DX化

ICT戦略

2 業種別・用途別
サービスモデル

ハイブリッドワーク

スマートビルディング

スマートファクトリー

デジタルマーケティング

ロボティクス

エネルギーマネジメント

3 当社の強みを活かした
共通基盤サービス群

マルチコネクティビティ

映像・音声認識 AI

セキュリティ

データ活用・分析

サービス管理・実行

監視・運用自動化

表記内容は予定のものを含み、一例

4 共創実践・創発

- お客さまとの共創
 - ✓ エンタープライズ
 - ✓ 通信キャリア
 - ✓ パブリック

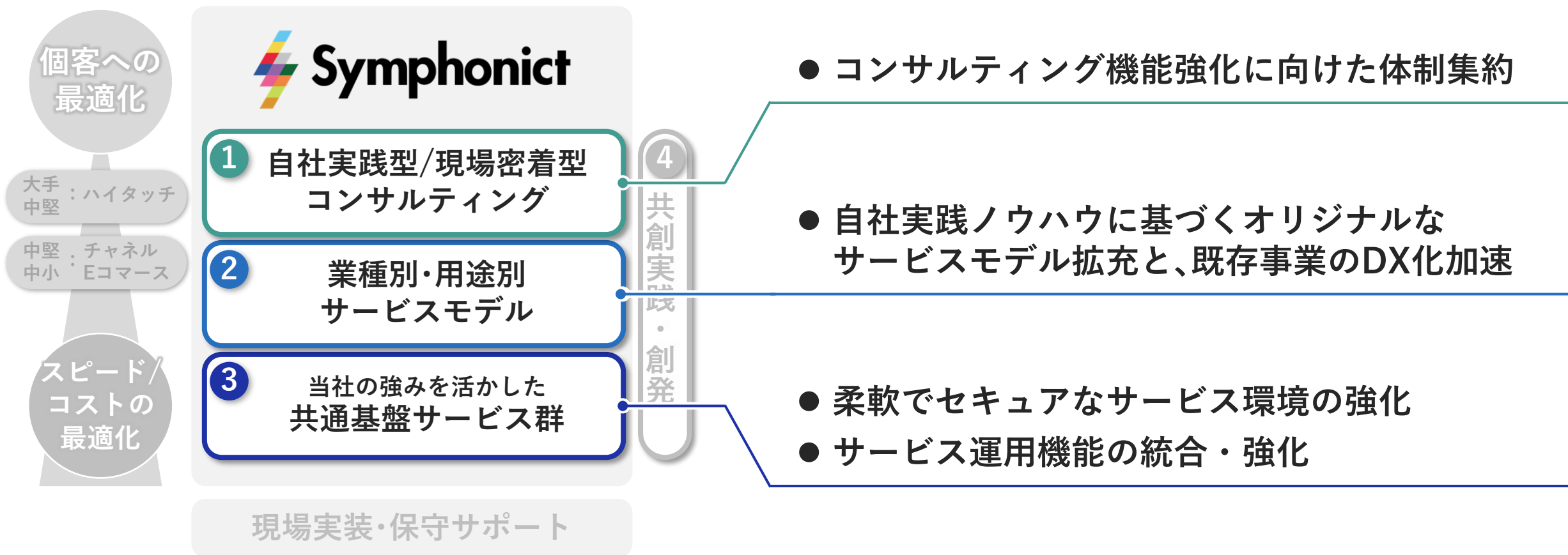
- テクノロジー
パートナーとの共創
 - ✓ 国内外ICTベンダ
 - ✓ サービサー
 - ✓ 通信キャリア
 - ✓ スタートアップ

全国約400カ所の拠点網による、お客さま現場への実装・保守サポート

CX : Corporate Transformation
BX : Business Transformation
GX : Green Transformation

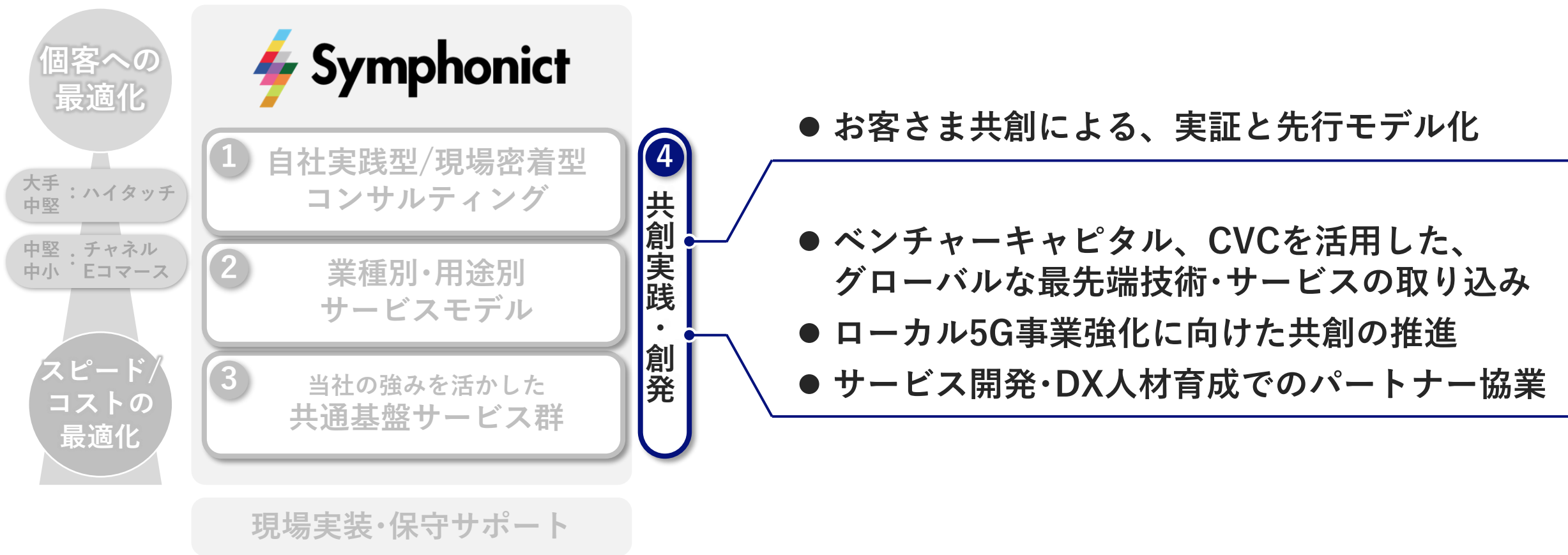
基本戦略 1：オリジナルな価値創造を加速

自社実践型コンサルによる最適解構想と、それを実現するサービス群の品揃え



基本戦略1：オリジナルな価値創造を加速

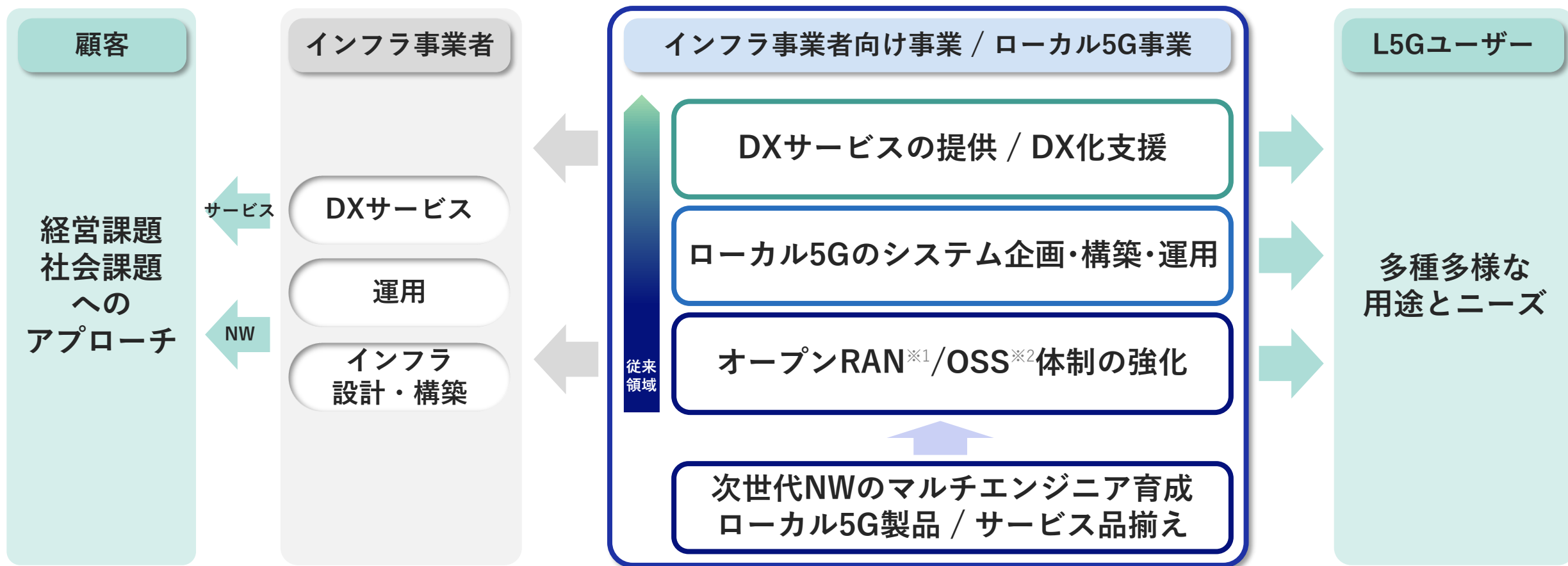
お客さまやパートナーとの共創実践を通じた創発による、独自価値の追求



基本戦略 2：課題解決力の高度化

主にインフラ事業者・L5Gユーザー向け

通信インフラ向け事業を、インフラ構築から運用・DXサービス領域へ拡大併せて、ローカル5G事業の企画・DXサービス領域まで、両面での領域展開



通信インフラ、CATV、電力、放送 等

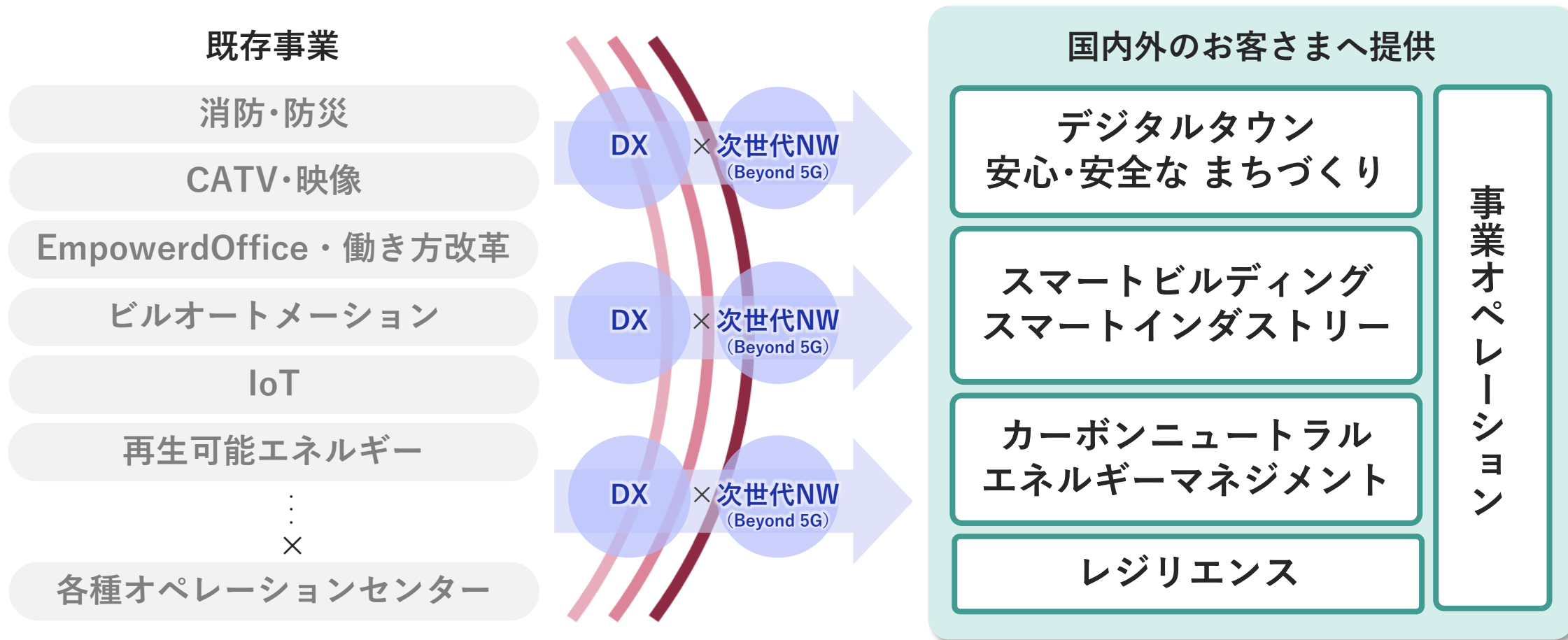
※1：Open Radio Access Network

※2：Open Source Software

基本戦略 2：課題解決力の高度化

主に官公庁・一般企業向け

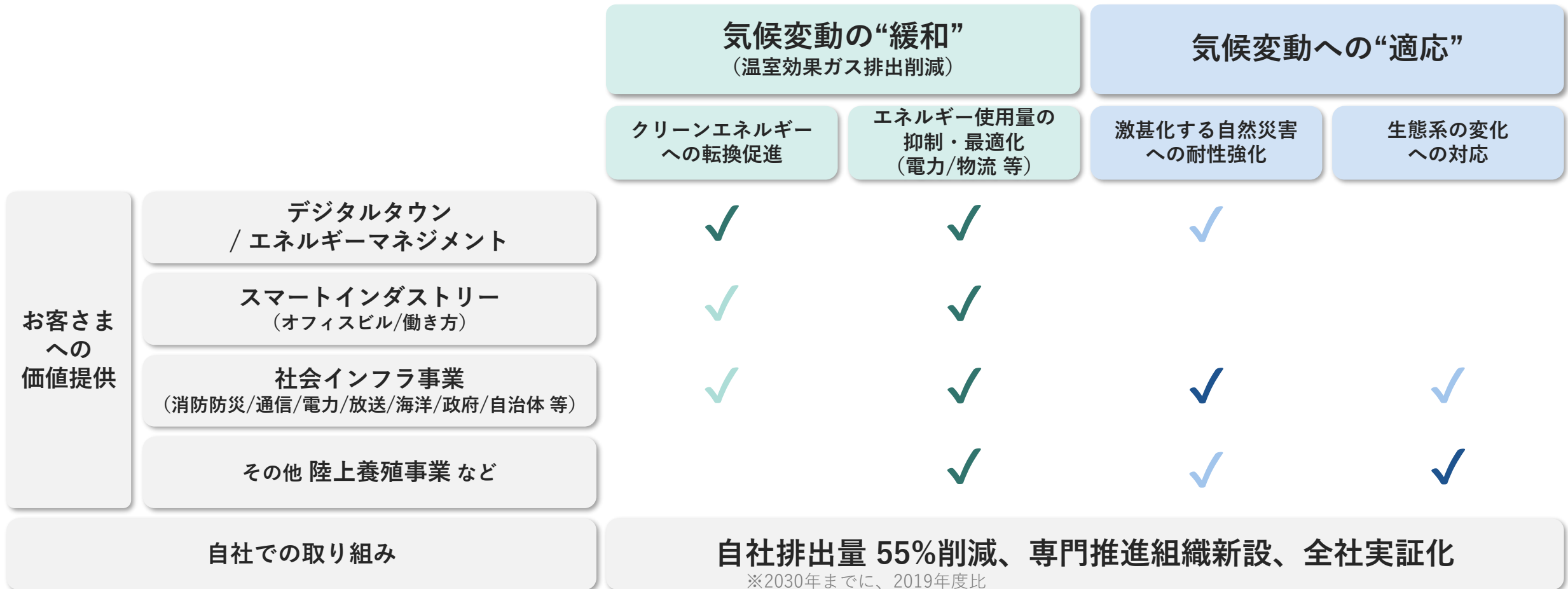
社会価値創造・サステナブルなまちづくり事業の創出に向け、
既存事業・アセットを組み合わせ、“DX×次世代NW”で進化



基本戦略 2：課題解決力の高度化

気候変動対応

全ての事業を、気候変動対応型事業へ



基本戦略 3：“全社”のDXネイティブ化

DXを駆使した品質・スピード・生産性・収益の向上と、リファレンスモデル化

施工領域

- 施工プロセスにおけるDX活用（品質向上・原価低減）
- 施工後のインフラ点検・維持のサービス化・高付加価値化

保守領域

- 保守運用アセット高度化、DX化
- 保守情報システム統合、データ活用
- 新サポートサービスモデル創出

セールス / マーケティング領域

- デジタルマーケティング体制の強化
- お客さま属性に応じた営業手法の多様化

アドミン領域 / 全社情報基盤

- グループ全体のプロセス標準化とDX化
- 情報活用基盤と、デジタルリテラシ強化
- 社内外へのコンサルティング活動

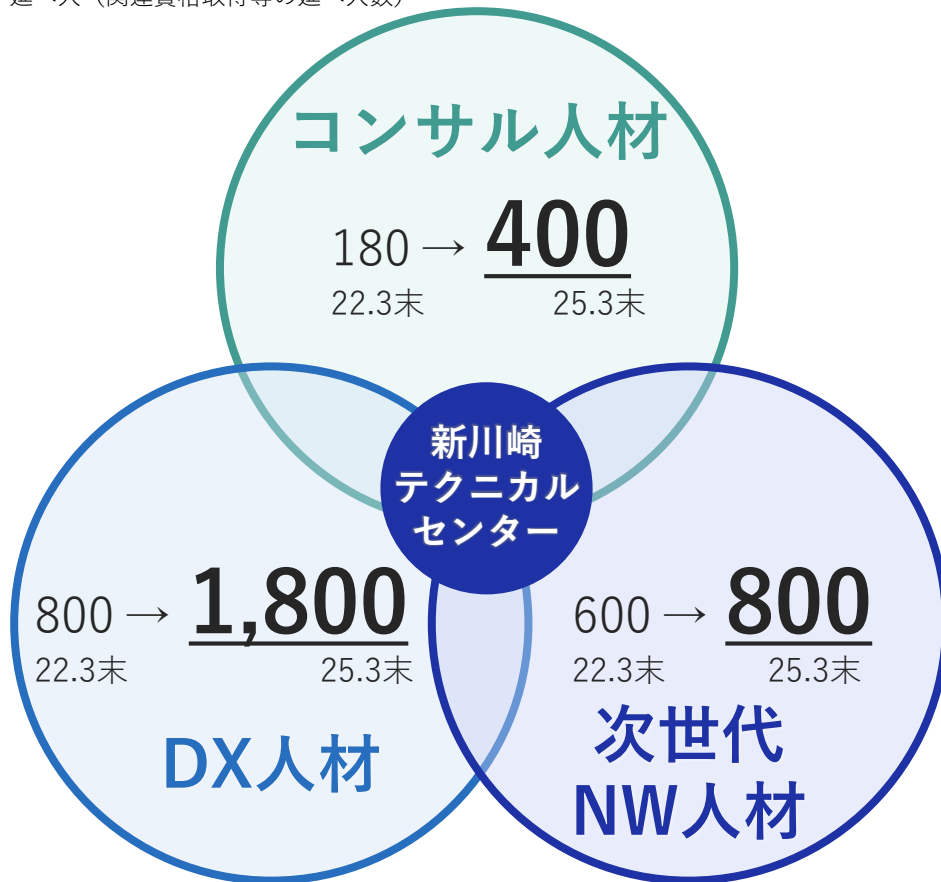
DX×次世代NWの
自社実践として
リファレンス化

自社実践・共創実践 加速の場となる、新本社への移転

基本戦略 3：“全社”のDXネイティブ化

DXネイティブ化を支え顧客価値の源泉となる高度人材の獲得・育成

単位：延べ人（関連資格取得等の延べ人数）



- 新川崎テクニカルセンターを核とした高度人材の育成
(コンサル人材/DX人材/次世代NW人材)
- リテラシとしてのDX教育による全社員の底上げと、自社実践
- DX人材育成機能の外販・収益化
(NESICカレッジ構想)



- 社員の成長を支える企業文化として、エンゲージメントの向上や、インクルージョン&ダイバーシティの促進

中長期でのグローバル拡大に向けたロードマップ

次期2027中計での本格成長に向けた準備を進める

Step 1

グローバル再拡大への準備

- 北米での先端技術/サービスインキュベーション機能拡充
- グローバル人材の育成
- 海外現法の事業基盤再強化

Step 2

グローバル再深耕

- DXビジネスやマルチSaaSビジネスの展開
- 北米等への市場開拓

Step 3

グローバル展開の本格化

- DXにプライベート5Gやエネルギー等を加えたソリューションの展開
- DXビジネスのグローバル化を加速・拡大

組織戦略

DX×次世代NWの具現化に向けた、組織改正を実施

Point
1

DX×次世代NW戦略の具現化と、
事業のサービス化を加速
(事業本部の一部機能を再編)

Point
2

コンサルティング／提言力の強化
(販促リソースを集約し、顧客関係を深化)

Point
3

カーボンニュートラル
／気候変動対応への戦略推進機能強化

Point
3

カーボンニュートラル推進本部

営業統括本部

Point
2

ビジネスプロセスイノベーション推進本部

ビジネスデザイン統括本部

Point
1

DXソリューション事業本部

Point
1

ネットワークソリューション事業本部

Point
1

社会・環境ソリューション事業本部

スタッフ 他

開示セグメント

〔2022年3月期の新セグメント実績は簡易組替えの参考値です。〕
中期目標値は2022年5月時点のものです。

組織再編に伴い、開示セグメントを変更

売上高
営業利益

単位:億円

DXソリューション事業

主に企業向けのSE・SI機能にNW運用・監視等サービス運用機能を統合

DXビジネスの 事業展開強化・加速

FY22.3
1,080
131

FY25.3
1,300
190

ネットワークソリューション事業

主にキャリア向けのSE・SI機能に、ソフト開発と保守機能を統合

次世代ネットワークへの 事業対応力強化

FY22.3
820
105

FY25.3
970
140

社会・環境ソリューション事業

主に社会公共ビジネスに関する機能・リソースを集約

パブリックDX事業および 環境・エネルギー事業の 提供体制強化

FY22.3
1,149
85

FY25.3
1,400
160

投資戦略



事業投資	● Symphonictの強化 ● 既存事業のDXサービス化 ● 気候変動対応関連投資	170億円
人材投資	● コンサルティング力の強化 ● DX人材の育成・獲得	50億円
情報化投資 その他投資	● 社内プロセスのDX化 (データドリブン経営へのシフト) ● 基幹システムの更新 ● オフィス投資	80億円
M&A投資	● 提供価値・競争力の向上 ● 地域・グローバルの体制強化	上記とは 別枠で検討

財務戦略（キャピタルアロケーション）

安定的に株主還元を継続するとともに、成長領域に向け投資も機動的に対応

(億円)



長期安定的に配当を継続

- ・DOE5.0%水準を目安

更なる成長への投資枠

- ・事業戦略に基づくM&A・出資
(技術・ノウハウ獲得、人材確保等)

不測の事態への資金手当

- ・月商の2か月分を確保

経営目標（財務指標）

(億円)	2022年3月期 実績	2025年3月期 目標	(参考) 過去最高
売上高	3,103	3,700	3,391 (2021年3月期)
営業利益	232	340	256 (2021年3月期)
(営業利益率)	7.5%	9.2%	7.5%
ROE（自己資本利益率）	11.6%	13%以上	13.5% (2021年3月期)

経営目標（非財務指標）

		2022年3月期 実績	目標	達成時期 / 備考
温室効果ガス排出量（SCOPE 1+2）		8,423t-CO ₂ (2020年3月期)	55%削減	2031年3月期まで (2020年3月期比) (SCOPE3目標は2024年3年期以降に設定)
高度人材の育成	コンサル人材	180人	400人	2025年3月期
	DX人材	800人	1,800人	2025年3月期
	次世代NW人材	600人	800人	2025年3月期
エンゲージメントスコア※		33%	50%	2025年3月期
女性管理職比率		5.9% (2022年4月時点)	10.0%	2027年3月期

※社員と企業の愛着心や信頼関係を数値化したスコア。
関連質問6問（6件法（1～6点））で平均が4.5以上となった社員の割合
（スコア:グローバル人事コンサルティング会社「Kincentric社」サーベイによる）
Orchestrating a brighter world 

Shift up 2024

社会を、さらなる高みへ



明日のコミュニケーションをデザインする

NECネットエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

2022年4月に実施した組織変更に伴い、2023年3月期より事業セグメントが変更になります。本資料に記載された新セグメントの数値は簡易組み換えによる参考値です。正確な数値は確定後に発表させていただきます。

\Orchestrating a brighter world

NEC

NECネットエスアイ